



NEWS

Fukuoka Foreign Trade Association

福岡貿易会 会員広報誌

発行・編集／社団法人 福岡貿易会
〒812-8505福岡市博多区博多駅前2-9-28
福岡商工会議所ビル7階
TEL.092-452-0707 FAX.092-452-0700
E-mail: info@fukuoka-fta.or.jp

vol.11



福岡・釜山超広域経済連携に向けて

8月28日、福岡市と釜山市は超広域経済圏形成に向けた協力事業に関する合意書を締結

CONTENTS

第2回「福岡・釜山経済協力協議会」開催 IN釜山ロッテホテル	1P
電子商取引サイトの最大手「アリババグループ」現地調査報告	2～3P
上海事務所だより～最近の中国経済の動向～	4～5P
セミナー報告・今後のセミナー予定	6P～裏表紙
会員企業紹介	裏表紙

第2回「福岡・釜山経済協力協議会」開催 IN釜山ロッテホテル

福岡市と釜山市は8月28日、第2回「福岡・釜山経済協力協議会（福岡貿易会もメンバー）」を開催し、協力事業の推進に関する合意書を締結した。両市は九州と韓国の東南圏（釜山と慶尚南道）を結ぶ「超広域経済圏」形成に向け、4つの基本方向、9つの戦略、23の細部推進事業を確定した。

福岡・釜山協力事業

基本方向	戦 略	細部推進事業
ビジネス協力	企業間協力の環境作り	経済協力事務所の相互設置 中小企業間交流の支援 鮮魚市場をはじめとした市場間交流 共同ブランドの創設
	未来型産業の育成	未来型産業の共同育成のための仕組みづくり IT産業の交流促進 自動車関連産業の交流促進 環境・エネルギー産業連携体制の構築
	相互投資の促進	企業誘致の相互協力 韓国企業の上場に関する福岡証券取引所に対する支援
	観光コンベンションの交流協力	両都市への観光客誘致促進 コンベンションの相互協力
人材の育成・活用	若き人材の育成	文化・言語の学習機会の充実 青少年の交流促進 大学生の交流活性化
	即戦力となる人材の活用	インターンシップの受け入れ支援 専門人材マッチングへの協力
日常交流圏の形成	交流圏形成の環境作り	友情年の認定事業の継続開催 福岡・釜山超広域経済圏の広報体制の強化
	人とモノの移動における利便性の向上	電子マネーの利用環境づくり 両都市を結ぶ交通手段の充実 相手国の言語表記の拡大
政府への共同要望	政府への共同要望	政府への共同要望



第2回福岡・釜山経済協力協議会



釜山市長主催歓迎晩餐会



晩餐会会場にて「福岡貿易会50周年記念誌」を釜山市長に贈呈（1962年当会が全国に先駆けて「韓国（釜山）経済視察団」を派遣したことや韓国との経済交流の歴史を説明）

電子商取引サイトの最大手「アリババグループ」現地調査報告

福岡貿易会専務理事 甲斐 敏洋・福岡市経済振興局企業誘致課係長 高巢 一興

電子商取引サイトの最大手“アリババグループ”のBtoC取引サイト「淘宝网(タオバオ)」にユニクロがネットショップをオープンしたとの新聞記事はまだ記憶に新しい。当会の貿易相談コーナーでもネット取引に関する相談が近年増加してきている。インターネットによる海外通販という、参入への障壁が低く簡便な手段が出現したかに見える。

こうしたことから、本年7月2日には、専門家と電子商取引サイトの運営事業者を招いての「第一回ネット取引セミナー」を開催し、ネット取引の法規制やリスク、中国におけるネット取引の現状などについて学んだ。さらに、セミナーの第二弾・実務編の開催準備と、次のステップとして福岡の地場中小企業が海外とのネット取引をどのように活用出来るかの一助とすべく、アリババグループの本社所在地である杭州にて9月11日から3日間の日程で開催された「ネット取引商品交易会」の現地調査に赴き、中国のネット取引の実態を真近に見てきた。

【ネット取引商品交易会】

2009年9月11日～13日、杭州市 休博園展示センター

浙江省政府、杭州市政府、アリババグループなどが一体となった運営体制。出展約1200社、来場者は3日間で15万人。日本を最重要視した顧客ポリシーで、厳選した約70社を「日本商品館」として入り口正面から右手奥の最も目立つ場所に貼り付けていた。



【写真左下】「日本で一番美味しいヨーグルト」とのキャッチコピーで試飲、展示商談を進める「糸島みるくぶらんと」の富永専務

【2009APEC中小企業サミット】

2009年9月11日・12日、杭州市 第一世界ホテル

交易会と隣接した会場で開催されていた2009APEC中小企業サミットも一部を聴講した。



クリントン元米国大統領とテレビ電話で話をする馬雲アリババグループCEO（写真左）。元大統領は、消費経済の増大やIT化により、中小企業やNGOが世界経済の変革や社会問題の解決にあたる機会が増えたことを指摘し、期待感を表明した。開幕式では、杭州市政府、中国国貿促のほか、日本とも関係の深い鄧騰達氏（写真右）がシンガポール工商聯CEOとして登壇していた。

そのほか、福岡アジア文化賞の受賞経験があるマイクロクレジットの提唱者ムハマンド・ユヌス氏や、福岡とも経済交流協定があり緊密な関係を構築しているシアトル市から、スターバックのシュルツCEOの講演があるなど福岡の取り組みとも隔たりを感じさせない、ごく普遍的なシンポジウムであった。

【課題と今後の方向性】

出展している日本企業の言葉を借りれば、海外ネット通販は「魔法の杖ではない」。その活用において「セグメントのふり分け、つまり、ネット通販あるいはアリババサイトが有効な商材と、そうでないものとの見極めが必要」という。ネットで商談の場を提供するアリババが、フェースtoフェースの商品交易会を開催していること自体、その証左である。ネットとリアルな商談が相互に補完関係となっている。

貿易取引に関する実務能力は、ネット通販による輸出の場合でも、リアルな商談を踏まえた輸出と同じ程度に必要である。但し一回の取引ロットが小さい分、輸出代行者への委託がより有効に機能しそうだ。残念ながら福岡を拠点とする事業者ではないものの、アリババのネット商談ツールを活用した輸出代行の提案が国内事業者から多数なされている。

「ネットを活用した海外通販に関しては事実上の世界標準というものがまだ存在していない段階」（三菱東京UFJ銀行）であり、規制や規範が確定していない。消費者保護、事業者の利益、税収が確保されるなど、輸入者や輸入国側にもメリットがないと事業継続性が確保できない。アリババグループは、中国側政府当局との良好な関係構築はもちろん最重要視しているが、同時にAPECという国際的な地域経済協力機構の中でも存在感を示し、世界経済で支持を得られる普遍的な制度構築を目指しているように感じとれた。

アリババサイトが日本生まれの消費財の参入に大きな期待を寄せ、また、中国政府も国内経済の消費経済化にあたっては巧みな政策の舵取りを行っている。中国向け海外通販への参入に関しては、世界標準の構築も見据えた日本側からの反応が決め手とも言えそうだ。

首都圏や関西圏という大消費地から離れているという地理的特性もあり、日本国内を対象とした通信販売の分野で成功を取めている福岡／九州発祥の企業は、結果的にこれまで比較的多かったとも言われる。是非、海外に向けた通販にもこの流れをつなげたいところである。おりしも福岡県では、麻生知事が地場産品の中国ビジネス展開にアリババ日本法人与（株）ネットプライズドットコム（いずれも本社は東京）による海外通販の仕組みの採用を発表するなど（9月16日、県知事定例記者会見）、ネット利用による海外取引を支援する機運が地域でも起こりはじめた。当会においても、地元企業が利用しやすい仕組みづくりや、地域でのノウハウ蓄積に協力を惜しまないつもりである。

上海事務所だより

最近の中国経済の動向

社団法人福岡貿易会上海代表処
首席代表 小柳 芳隆

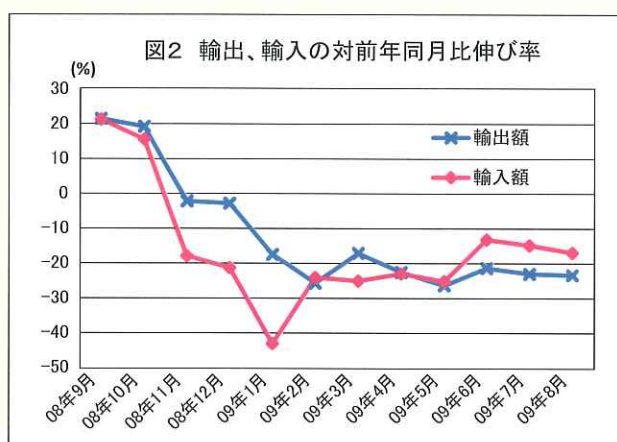
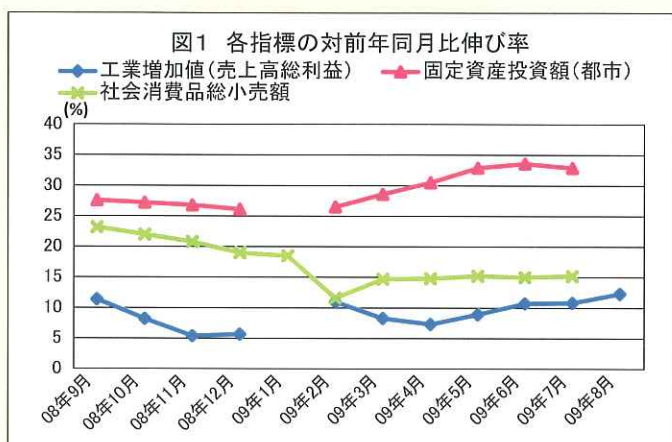
昨年秋のリーマンショック以降、世界中で景気後退が続く中、比較的早い景気回復が言われる中国ですが、実際にはどのような状況になっているのでしょうか。こちらで報道されている数字を少しまとめてみました。

【堅調な固定資産投資、消費、低調な輸出・輸入】

まず、マクロの指標を見てみましょう。

図1では、①都市部における固定資産投資額、②消費財の総小売額（サービス含む）、③企業の売上高総利益、のそれぞれの対前年伸び率の推移を表しています。（固定資産投資額は各年1月からの累計）

「固定資産投資額」は、今年3月以降の伸びが著しいのがわかります。



これは昨年11月に発表された政府の4兆元の景気対策が大きく影響しています。景気対策は主にインフラ整備や住宅建設などに支出されていますが、実際に中国各都市では地下鉄や道路、下水道、マンションなどあちこちで建設されているのが見受けられます。農民工など雇用の受け皿になるとともに、経済成長率を直接的に押し上げていと考えられます。アジア開発銀行（ADB）は、今年通年の中国のGDP成長率を8.2%と予想しています。

「社会消費品総小売額」についても昨年に比べ伸びが鈍化しているものの、堅調を維持していることがわかります。こちらも政府の「家電下郷」や「以旧換新」、自動車減税、住宅ローン緩和など消費の下支え政策の効果と考えられます。

「工業増加値」（総生産額からコスト、税金を引いたもの）も、国内消費に押し上げられる形で伸び率が上がってきています。特に自動車、液晶テレビ関連の業績がよいという話を聞きます。

「輸出」、「輸入」については、図2のとおり依然落ち込みが激しいのがわかります。

特にEU、米国、日本向けの落ち込みが激しく、1-8月の貿易額では3地域ともに対前年同期比マイナス20%前後の低水準で推移しています。

次にこうした景気刺激策がどのような効果を上げているか見てみましょう。

【不動産市況、株式市況の高騰】

まず、不動産市況、株式市況が活性化しています。

景気対策は政府の財政支出と金融緩和という形で実施されますが、今年上半期の銀行の新規貸出残高は7.7兆円で前年同期に比べて33%増加しています。この一部が不動産市場や株式市場に流れ込みました。

その結果、不動産取引が活性化するとともに、住宅価格が高騰しており、上海では8月に住宅の平均成約価格が過去最高を記録しています。ちなみに、平均成約価格は1万8,502元/m²で、1m²当たり3万元を超える高級住宅の成約件数も全件数の12%を占めると報じられています。

（中国の場合、商品住宅は共有部分も含めた建築面積で表示されるため、日本の専有面積より実際は少し狭くなります。）

今後さらに海外からの投機資金も流入してくると見られており、バブル崩壊を懸念する声も一部で聞かれます。

上海証券取引所の株価指数も景気対策が始まった昨年11月以降順調に上昇を続けており、今年8月に中央銀行が金融緩和政策の調整を示唆した後にやや下がるという動きになりました。

【効果が大きい「家電下郷」】

次に、「家電下郷」など消費支援政策の効果を詳しく見てみましょう。

「家電下郷」は、農民戸籍の人が家電製品を買う際13%の補助をするという制度です。対象9種類の家電のうち、量、金額とも最も多いのが冷蔵庫で、1-8月分で944万台、196億元を売り上げています。以下、カラーテレビ296万台、40億元、洗濯機223万台、24億元、エアコン177万台、47億元となっています。メーカー別では、ハイアールが圧倒的に多いという結果です。

都市部でも「以旧換新」という家電・自動車の買い替え補助が始まりましたが、こちらはまだ効果の程はわかりません。この制度は購入価格の10%を補助するという制度ですが、限度額があり、例えば上海市の場合400元が上限となります。

自動車に対しては「以旧換新」のほか、農村で「汽車下郷」の制度も始まりました。オート三輪や低速トラックを買い替える際、購入価格の10%を補助するというものですが、これもまだ始まったばかりで効果はわかりません。メーカーからは対象が軽自動車などに限られていることに不満の声も上がっているようです。また、そもそも自動車に関しては買い替え需要よりも新規購入の方が圧倒的に多いという背景もあります。

自動車に関しては、1600cc以下の小型自動車に対する車両取得税率引き下げの効果が大きかったようです。1-8月の小型車販売台数は対前年比56%の伸びを示し、自動車全体でも、1-8月の販売台数が833万台、対前年比29%増となっています。今年通年では1,200万台を超える見通しとも報じられています。普通乗用車のメーカー別販売台数では、上海大衆（フォルクスワーゲン系）、一汽大衆（同）、上海通用（GM系）の順となっており、日系では5位に東風日産、8位に広汽本田、9位に一汽豊田が入っています。その他、ベンツ、BMW、アウディなど高級車も順調に売り上げを伸ばしています。

液晶やプラズマなど薄型テレビも「家電下郷」の影響により、販売台数を伸ばしています。今年上半期における中国内の薄型テレビの販売台数は978万台、対前年比58%増となっています。

日系企業もシャープ、日立、三洋などが「家電下郷」の対象になっていますが、価格上限が3,500元と厳しい上、部材の液晶パネルの価格が高騰しており、HisenseやTCLといった中国国内メーカーとの厳しい価格競争にさらされ苦戦しているようです。

ちなみに、薄型テレビで中国の人はどんな番組を見ているのでしょうか。上海では各地方局を含め60以上のチャンネルが見れますが、最近は視聴者参加型の歌合戦やダンスコンテスト、お見合い、身の上相談、風雲たけし城のような番組も多く見られるようになりました。テレビの普及に伴い、テレビへの出演も身近になったのかもしれない。

さて、「家電下郷」で意外に少なかったのが携帯電話で、1-8月分で66.6万台となっています。今年7月には携帯利用者数が7億人を突破したとのことです。農村でも既に普及しているため販売数が伸びなかったのかもしれない。今後、3G（第3世代携帯電話）への買い替え需要が期待されており、中国移动、中国連通、中国電信の3大通信キャリアもそれぞれ、「OPhone」、「iPhone」、「ブラックベリー」の販売を表明しています。

【上海万博】

最後に、上海の状況について。

上海では今、市内の至る所で工事が行われています。万博に向けてインフラ整備が着々と進んでいることを肌で感じることができます。万博の広告もテレビ、新聞、地下鉄、タクシー、エレベーター、看板など街の至る所で見かけます。万博一色という感じになっており、さぞや地元の人盛り上がっているだろうと思いついてみると、意外に冷めた目で万博を見ている人もいて驚きます。かつての大阪万博のようにビッグイベントに向かってみんな盛り上がるというには、上海はもう発展しすぎてしまったのかな、など考えたりします。

いずれにしろ、万博を通じて上海市民の生活が質的に向上することは間違いありません。

会期中7,000万人の人出を見込んでおり、海外からも3,500万人が来ると試算されています。既にチケットも700万枚以上が売れており、過去最高の盛り上がりになるに違いありません。

皆様もぜひお越しいただき、生まれ変わった上海の街をご覧いただければと思います。

参考：1元=13.37円（2009年9月24日現在）



報告

● 国際法務セミナー

- <日 時> 平成21年6月18日(木) 9:30～16:40
 <ところ> 福岡商工会議所ビル3F 303会議室
 <内 容> 第1部 9:30～15:30 「国際取引トラブルの予防と解決」
 講師: 鴻和法律事務所 弁護士・弁理士 山上 祥吾 氏
 国際取引の基本的な知識と注意点(基礎編)
 国際取引トラブルの予防・解決のための実践的テクニック(応用編)
 第2部 15:40～16:40 貿易保険制度について
 講師: (独)日本貿易保険大阪支店
 営業グループ長 桑原 昭翁 氏
 貿易保険とは・貿易保険の種類

参加者のことばより

- * 第1部: 講師の海外滞在経験からくる任国地の風俗・習慣・法律・民族性などの深い理解からのお話に、我々が実際に実務を実施する上で非常に役立ちます。
- * 第2部: 転ばぬ先の杖のごとく、貿易保険の重要性を良く理解した。お客様の質問にも多少答えることができそう。

● 貿易英語講座～基礎編～

- <日 時> 平成21年6月25日(木)・7月1日(水) 10:00～16:00
 <ところ> 福岡商工会議所2F 第2研修室
 <講師> 末次通訳事務所代表 末次 賢治 氏
 <内 容> 第1回 貿易英語コロケーションの基本的なコツ・自社紹介/業務紹介の練習
 第2回 各種要求・依頼・通知文の書き方と返事



参加者のことばより

- * 最高の講義でした。今まで受けてきたどんな英語講座よりも、今回の末次氏による講義が一番であったと個人的には感じました。
- * 普段、書類やメールなどで英語を使うが、英語での問い合わせはなるべく避けていた。普段よく使う表現ほど簡単な単語で言うことが出来ることを肝に銘じて、今後は英語の問い合わせにも積極的に取り組んでいきたい。

● インターネット取引から見えてくる中国市場

- <日 時> 平成21年7月2日(木) 14:00～17:00
 <ところ> 博多都ホテル4F 桔梗の間
 <内 容> I. BtoCインターネット取引に関する法制度
 講師: 一般社団法人 ECネットワーク 理事 沢田 登志子 氏
 II. 中国の電子商取引市場と動向
 講師: 株式会社富士通総研 首席研究員 金 堅 敏 氏
 III. インターネットを活用した中小企業の販路拡大
 講師: アリババ株式会社セールス部長・サービス部長 大佐々 憲 氏



参加者のことばより

- * インターネット法制度がとても分かりやすく説明把握できた。
- * 中国でのインターネットの背景が具体的な例で分かりやすく理解出来た。
- * アリババのBtoB、BtoCの取引の話は参考になった。

● 英文契約書入門セミナー

- <日 時> 平成21年8月4日(火) 13:30～16:30
 <ところ> 福岡商工会議所3F 303会議室
 <講師> 鴻和法律事務所 弁護士・弁理士 山上 祥吾 氏
 <内 容> 英文契約書の基礎知識・英文契約書の具体的な条項について

参加者のことばより

- * 盛りだくさんで契約書の特徴的なところを簡潔に教えてもらって為になりました。
- * 説明資料だけではイメージ出来ない内容も契約書例文を交えながらの講義だったので非常に分かりやすかったと思う。



● 輸出入金融セミナー

- <日 時> 平成21年9月8日(火)・9月16日(水) 13:30～16:30
 <ところ> 福岡商工会議所2F 第2研修室
 <講師> 福岡貿易会 貿易アドバイザー(九州産業大学非常勤講師) 木村 寧海 氏
 <内 容> 輸出入代金の決済方法・輸出入金融・外国為替市場の仕組み等



参加者のことばより

- * 見たり聞いたりするが意味がわからなかったことなどが本日の講義でクリアになりました。
- * 信用状の書き方(穴埋め式)等の演習も取り入れてあって、途中で飽きることなく受講出来ました。
- * 知りたい情報が全てあり有意義でした。回数や時間をのばして、もっと詳しく聞きたいと思いました。

● 中国語会話基礎編 ※博多港振興協会と共催

- <日 時> 平成21年4月9日(木)～10月1日(木) 19:00～20:30
 <ところ> 西日本ビル会議室
 <講師> 北京・ニーハオ中国語センター 講師 蔣 品 氏

ピン音から始めた初心者対象クラスでしたが、この6ヶ月間にドロップアウトされた方は皆無でした。初心者といえども初回授業から中国語を交えて繰り返しご指導下さる先生のお陰で、今では自己紹介を始め、かなりの会話力がつき、すっかり中国ファンになってしまった受講者の皆様です。

参加者のことばより

- * 中国語講座に通いだしてから、毎週時間が経つのが早いような気がします。日ごろ仕事中心の生活なのですが、毎週一時間半だけでも異国の言葉と文化に触れることで、日々の生活までがカラフルになってきました。
- * 中国語の発音、聞き取りがとても難しいが、CDを何度も聞いて引き続き努力したい。どんどん新しいフレーズを覚えていくことが今はとても楽しい。



今後開催予定のセミナー

☆「食品輸入入門セミナー」初心者向け

<日 時> 平成21年10月15日(木)14:00~16:30
 <ところ> 福岡商工会議所2F 第2研修室
 <講 師> 厚生労働省福岡検疫所食品監視課
 輸入食品相談指導室長 平井 秀和 氏

☆「外航貨物海上保険セミナー」

<日 時> 平成21年11月5日(木)14:00~16:30
 <ところ> 福岡商工会議所2F 第2研修室
 <講 師> 三井住友海上火災保険株式会社
 福岡法人営業第三課
 課長代理 木村 紀史 氏

☆「ビジネス中国語会話 基礎編」

<日 時> 平成21年10月15日(木)~12月17日(木)
 19:00~20:30
 <ところ> 西日本ビル会議室
 <講 師> 北京・二一八才中国語センター 講師 蔣 晶 氏


☆「貿易英語講座～上級編～」

<日 時> 平成21年11月10日(火)~2月16日(火)
 19:00~20:30
 <ところ> 西日本ビル会議室
 <講 師> 末次通訳事務所代表 末次 賢治 氏

☆「食品輸入実務セミナー」実務担当者向け

<日 時> 平成21年10月27日(火)14:00~17:00
 <ところ> 福岡商工会議所2F 第2研修室
 <講 師> 厚生労働省福岡検疫所食品監視課 輸入食品相談指導室長 平井 秀和 氏
 厚生労働省福岡検疫所 食品衛生専門官 谷 拓 氏

会員企業紹介

◆会員名	武末法律特許事務所		
◆代表者役職氏名	弁護士・弁理士 武末 昌秀		
◆所在地	〒810-0041 福岡市中央区大名 2-10-1-A1007		
◆TEL	092-714-4554	◆FAX	092-714-4588
◆URL	http://www.takesue-law.com	◆E-MAIL	m-take@yacht.ocn.ne.jp
◆主要業務	法律相談・訴訟代理		
◆当社の特色と 会又は会員企業への 希望について	企業対象としては、特許や商標等の知的財産権にかかわる訴訟事件では、昭和50年に東京の水田耕一先生（元法務省民事局参事官・元ハーグ国際裁判所裁判官・元東京地裁特許部判事）の教授を受けて以来、約34年の実績を有します。知的財産に関する裁判所の対応の変化に応じて、豊富な先例の変化を把握し参考基準にして、クライアントやネットによる情報提供を得て専門知識を理解して、訴訟や交渉に臨みます。		
◆最近の実績	地元（佐賀）の薬品メーカーが製造、販売していたインフルエンザ抗原検出試薬に対してスイスの会社（世界的薬品ファンド）から英国・オランダ特許権侵害差し止め等の訴訟を提起され、同様の訴訟では、英国、仏国さらに日本の他メーカーが敗訴していた事件で、大逆転の勝訴判決（大阪地裁知財部・知財高裁・最高裁）を得ています。これも、知財においては、従来の行政的判断ではなく法的判断をすべきという、裁判所や立法の考えの流れに速やかにかつ適格に対応した結果と言えます。		

福岡貿易会事務所

〒812-8505 福岡市博多区博多駅前2丁目9番28号
 福岡商工会議所ビル7F
 TEL:(092)452-0707 FAX:(092)452-0700
 E-MAIL:info@fukuoka-fta.or.jp
 ホームページ http://www.fukuoka-fta.or.jp/

上海事務所

中華人民共和国上海市盧湾区淮海中路398号 世紀巴士大廈9階
 TEL:+86-21-6385-8815 FAX:+86-21-6385-8806
 E-MAIL:fukuoka-city@fukuokash.com.cn

発行・編集/ 社団法人 福岡貿易会
 デザイン・印刷/ (株)西日本高速印刷



この印刷物は自然環境保護のために再生紙を使用しています。
 また、大豆油インキを使用しております。